

創形美術学校
研究科
Graduate School

〈1年制 研究課程〉

SOKEI

Sokei academy of fine art & design Graduate School School guide book 2023

本物にふれる 本当の力をつける





本物にふれる 本当の力をつける

指導するのはすべてプロのクリエイター。
一步一步ともに歩む姿勢で
創造するよろこびを伝え、
眠っている才能とゆるぎない力を引き出します。
ひとりひとりにとって心地よい学びの場が
ここにあります。

創形美術学校

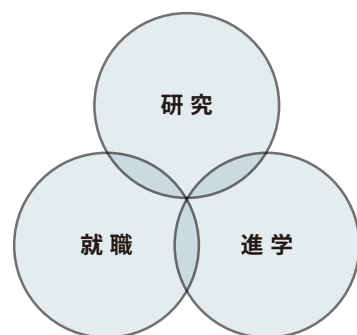
研究科

プロに学ぶ高度で専門的なスキルを習得。
自在な授業選択による主体的研究。

創形の研究科は、本校あるいは大学などを卒業された人や社会人を対象として、より専門的なアートやデザインの研究活動を行うための場として設けられた1年制の研究課程です。

恵まれた制作環境の中で、さまざまな分野のプロによる指導を通して、高度で専門的なスキルが習得できます。さらなる表現技術の研鑽を目的として、専攻分野の枠を意識することなく授業選択が可能のため*、自身のテーマに合わせて自由に研究できるのも大きな特徴です。

※「オーダーメイド カリキュラムシステム」P6参照



創形の研究科は「研究」「就職」「進学」で構成されています。

目的に合わせたステップアップの場。

創形の研究科は主体的な研究活動を目的としているため、各々の目的に合わせたステップアップの場として活用できます。また、さらに研究を深めるために研究科研修生として複数年間在籍することもできます。



2つの課程・5つの専攻分野

創形美術学校の研究科は、学ぶ目的に合わせて2つの課程から選択できます。

〔課程選択〕

アート・デザイン専門課程

アートやデザインを更に研鑽するための「アート・デザイン専門課程」は[オーダーメイド カリキュラムシステム]で自身の研究テーマに合わせてオリジナルカリキュラムを自在に組むことができます。また作品発表の場やビジネスを学ぶ授業のほか、グローバル社会を意識した講座や研修制度など多様なカリキュラムを用意しています。

美術進学課程

芸大・美大大学院合格を目指す「美術進学課程」は、有名美術大学の教授や講師を招いての講座のほか、研究計画書や小論文、面接対策など、美術大学大学院受験対策に特化した受験カリキュラムが組まれています。

〔専攻分野選択〕

自身の研究テーマに合わせてそれぞれのコースから専攻分野を選択してください。

【創形美術学校 研究科】

〔課程選択〕

アート・デザイン専門課程

美術進学課程

〔専攻分野選択〕

アート研究コース

デザインビジネスコース

- 絵画専攻分野
- 版画専攻分野
- イラストレーション・絵本専攻分野
- グラフィックデザイン専攻分野
- メディアデザイン専攻分野

ファインアートコース

- 絵画専攻分野
- 版画専攻分野

ビジュアルデザインコース

- イラストレーション・絵本専攻分野
- グラフィックデザイン専攻分野
- メディアデザイン専攻分野

アート・デザイン専門課程

〔アート研究コース〕

自身の研究テーマをより深く掘り下げていくコースです。絵画技法や版画実習、映像実習、絵本制作などの実技授業のほか、絵画概論、版画講座などの座学もあります。さらに美術館やギャラリーなどでの作品発表を中心に、指導教員とのディスカッションなどを通して作家になるための研鑽を行っていきます。また海外研修派遣制度の応募が可能となります。



〔デザインビジネスコース〕

デザイナーやクリエイターとしてデザインビジネスに必要なスキルを学ぶコースです。クリエイティブ業界で使用されるアプリケーションや機材を扱う授業、先端メディアの活用方法、マーケティング、知的財産権などビジネスそのものを学ぶ授業などがあります。また就職講座やポートフォリオの制作、インターンシップの斡旋などを通して就職指導も行っていきます。



美術進学課程

〔ファインアートコース／ビジュアルデザインコース〕

芸大・美大大学院への進学に特化した課程です。各専攻分野の研究ゼミ、大学院進学講座以外にも、研究計画書の作り方から小論文の書き方、面接対策など受験に必要なことを指導するほか、志望校に合わせた個別受験対策相談も行います。

*「美術進学課程」は大学院合格を第一とした受験専用の課程です。アート・デザイン専門課程のようなオーダーメイドカリキュラムシステムには対応していません。



オーダーメイドの自在な授業カリキュラム

■ 講座をチョイスし、カリキュラム作成

現代のアートやデザインはボーダーレスとなり、よりグローバル化が進みつつあります。時代にとらわれない柔軟な応用力を身につけるために、創形ではアートやデザインの垣根を無くし、領域にとらわれない幅広い研究を可能にしました。オーダーメイドカリキュラムシステムは多彩な授業から選択して受講ができるシステムです。

[オーダーメイド カリキュラムシステム]

創形の授業カリキュラムは5専攻分野に分かれて組まれています。

自分の専攻分野を中心に担当教員が希望を聞きながら、学習目標達成に向けたカリキュラムと一緒に考えていきます。希望の講座を組み込みでき上がったオリジナルカリキュラムを通して、表現技術の研鑽を深めていきます。

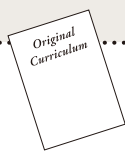
一年間という短期間で高度な専門技術を身につけた人も、自分が学びたい講座を集中して受講することが可能となります。

[オーダーメイド カリキュラムシステム]

担当教員と相談しながら、自分の専攻分野を中心として、授業カリキュラムの中にある講座から自由に選択。



自分だけのオリジナルカリキュラムができ上がります。



* 大学院受験専用のカリキュラムは、オーダーメイドカリキュラムでは選択できません。大学院進学を目指す方は「美術進学課程」に入学してください。



グローバル社会を意識した世界水準の教育

■ 海外アーティストによる授業・企画展

創形美術学校は、常に世界レベルの高度な教育を維持していけるように、積極的に国際交流に努めてきました。欧州・北中米といった国々からアーティストを招き、講演会や展覧会・ワークショップなどを開催しています。また研究生の海外への留学研修制度も充実。フランスやメキシコとは国際芸術交流の提携を結び、これまでも多くの研修生を派遣してきました。世界のアートシーンの現在を知ることにより、広い視野や世界を意識した考え方で自身の研究テーマに取り組めるようになります。

英語やフランス語、日本語などの語学講座も充実し、グローバルな社会を見据えて幅広く学ぶことができます。



充実した語学講座



英 語

英語の初級者向けの日常会話に重きを置いた講座。流ちょうな日本語を話すネイティブの先生がわかりやすく丁寧に指導します。

フランス語

創形はパリへ約9ヶ月間の研修制度（研修派遣制度「パリ国際芸術都市」シテ・デ・ザール）もあるため、専門学校ではめずらしくフランス語の授業があります。初級編、中級編とそれぞれ週1回の授業が開設されています。

日本語

日本での就職や大学院進学を目指す留学生には日本語能力試験N1レベル*が求められます。そのため、日本語能力試験N1を取得を目指す「日本語1」とアートやデザイン業界のビジネスシーンなどで扱う専門用語を習う「日本語2」の2つの講座が開設されています。ハイレベルな日本語を分かりやすく丁寧に指導していきます。

※N1レベル：幅広い場面で使われる日本語を理解することができる

研修派遣制度

パリ国際芸術都市 (シテ・デ・ザール)

「パリ国際芸術都市（シテ・デ・ザール）」は、1965年にフランス政府とパリ市により美術、音楽、映画、舞踊、演劇など幅広い分野の芸術家のために設立。芸術における国際的な重要な拠点となっています。創形は専門学校では唯一、美大でも数校しか許されていない「パリ国際芸術都市」の使用を認められ、毎年約9ヶ月間の研修派遣を行っています。ここでの研修活動は芸術家としての可能性を導きだす絶好のチャンスとなっています。



メキシコベラクルス州立大学 造形美術研究所

創形はメキシコベラクルス州立大学 造形美術研究所と国際芸術交流提携を結んでおり、毎年交互に海外研修生を派遣しています。メキシコから訪れる研究所のアーティストによる展覧会を創形1階ギャラリーで開催します。メキシコへ派遣される研修生はベラクルス州立大学での制作活動のほか、展覧会も開催。今までも著しい成果を収めています。

※フランスやメキシコへの海外研修派遣は選考を経て選ばれる必要があります。それぞれの選考で選ばれた学生には、「パリ賞」「メキシコ賞」として、助成金が授与されます。

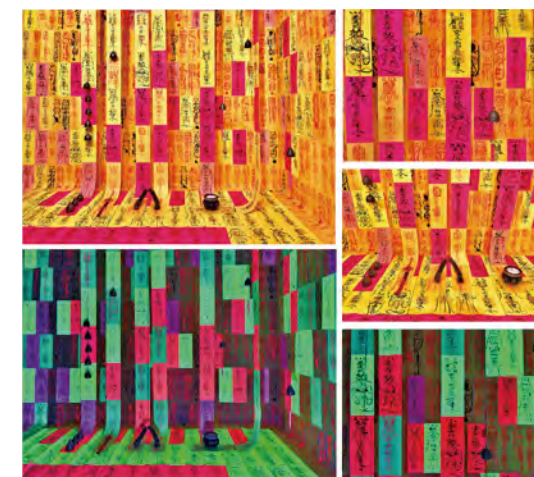
アート研究コース

アート研究コースは、自身の研究テーマをより深く掘り下げていくことを目的としています。展覧会などの作品発表を中心に、指導教員とのディスカッションを通して作家になるための研鑽を行っています。また研修派遣制度の応募*が可能で、修了後に海外留学へ進む研究科生もいます。

※「研修派遣制度」P9参照

*展覧会への出品は「アート研究コース」の特徴のひとつです。

所属する専攻分野を中心に本課程の授業の中から自身の研究テーマに沿った授業を選択し、カリキュラムを作れるのが「アート研究コース」の一番の特徴です。どの授業もその分野のプロの指導を受けられます。また一つのテーマに絞り、1年間じっくり制作に没頭することも可能です。最近では定年後のセカンドライフを充実させるべくアート研究コースに入学し、複数年在籍する研究科生もいます。

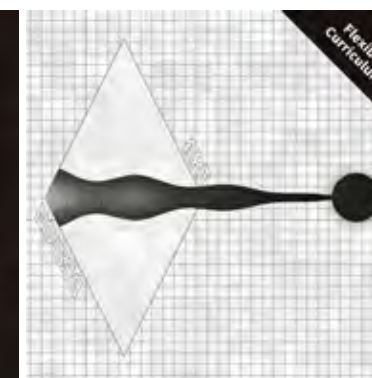


デザインビジネスコース

デザインビジネスコースは、デザイナーやクリエイターとしてビジネスに必要なスキルを学ぶ事を目的としています。クリエイティブ業界で使用されるアプリケーションを学ぶほか、先端メディアの活用方法、マーケティング、知的財産権などビジネスに欠かせない講座があります。またポートフォリオの制作やインターンシップを通して実践的なビジネスを学ぶこともできます。

＊「デザインビジネスコース」では担当教員が研究生と面談のうえ、インターンシップを斡旋します。

デザインプロダクションなどへの就職を目的として、会社が求める知識や技術の習得、将来起業するために必要なことも学べるのが、このコースの特徴です。一般大学を卒業したけれども1年間でデザインのノウハウを身につけたいと考えている人や、日本での就職を目指す留学生などが在籍しています。



アート研究コース

幅広い授業と実践的な作品発表の場

■ アート系の専攻分野

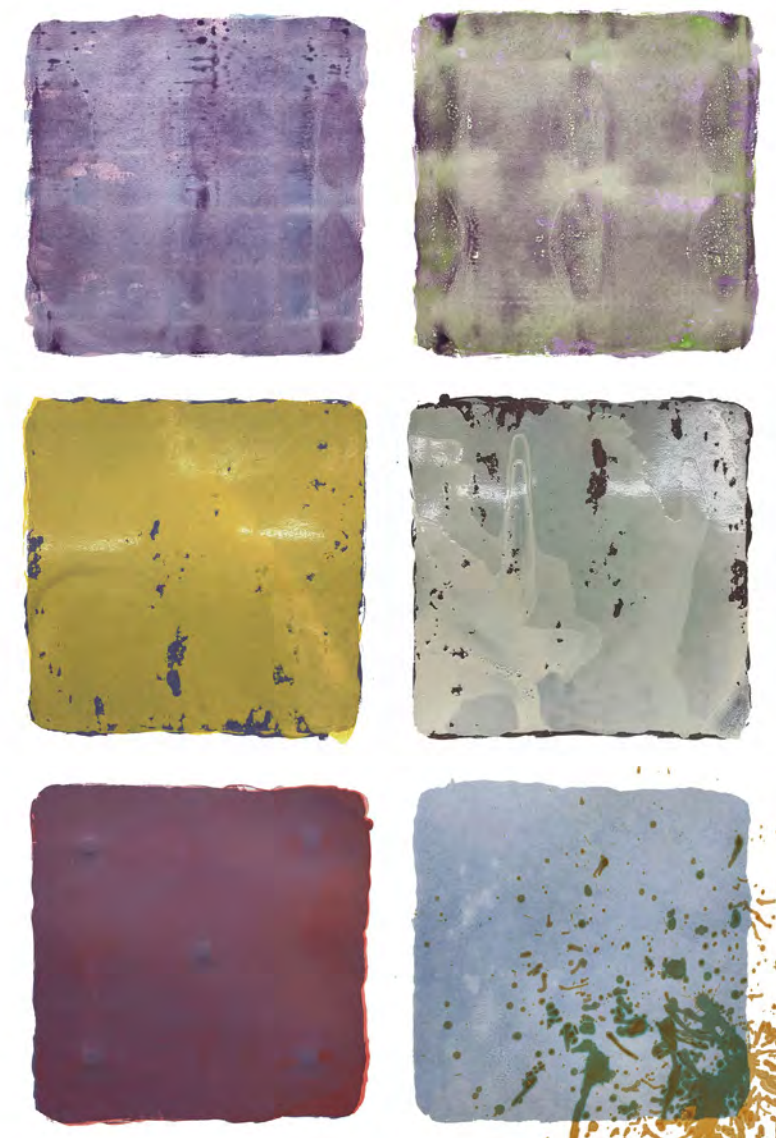
アート研究コースでは、古典技法の授業から先端メディアを自在に使いこなすための講座まで幅広く受講できます。アート研究コースには[絵画専攻分野]と[版画専攻分野]の2つのファインアート系の専攻分野があります。

[絵画専攻分野]

教員は全て現役の絵画、造形作家。あるいは美術評論家。「フレスコ画」「テンペラ画」「グリザイユ」などの古典技法を扱う作家から世界的現代アーティストや人気の評論家まで幅広い教員が揃っています。

[版画専攻分野]

「木版画」「銅版画」「シルクスクリーン」「リトグラフ」などの四版種それぞれを専門とした現役の作家のほか、プロの刷り師の教員も在職。世界でも評価の高い日本の版画を、実習を中心に指導していきます。



■ 実践的な作品発表の場、学外展覧会

創形は学内外での作品展示の機会を多く設けています。学外展覧会は実践的な作品発表の場として作家へステップアップするきっかけとなったり、自分の現在地を確認する貴重な機会となります。修了制作作品展は多くの方が訪れる都内ギャラリーにて展示され、特に優れた作品に高澤賞が授与されます。

*高澤賞受賞者は翌年にギャラリー・プント(本校内ギャラリー)にて個展が開催できます。



デザインビジネスコース

プロによるマンツーマン指導

■ デザイン系の3つの専攻分野

創形の教員は全員がさまざまな分野の第一線で活躍しているプロのクリエイターです。いわゆる教科書的な指導ではなく、実際の現場で必要な知識や技術など、プロとして活躍するうえで大事なポイントを指導していきます。

[イラストレーション・絵本専攻分野]

出版界、広告業界など第一線で活躍するイラストレーターの他、絵本作家、アートディレクター、編集者など業界に携わるプロが揃います。研究科生の個性を重視した指導は各自の研究テーマを掘り下げる指導でもあります。

[グラフィックデザイン専攻分野]

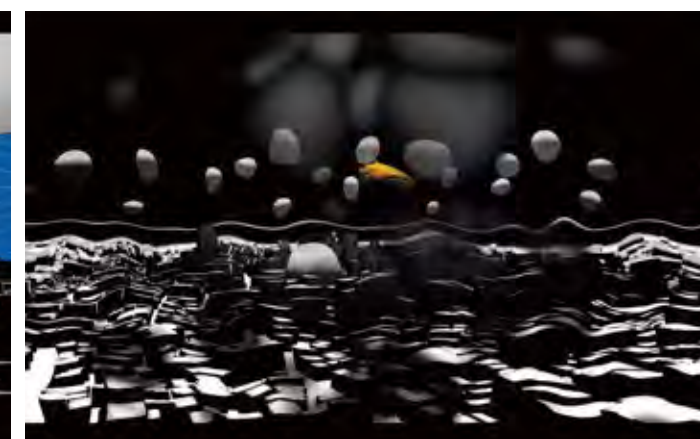
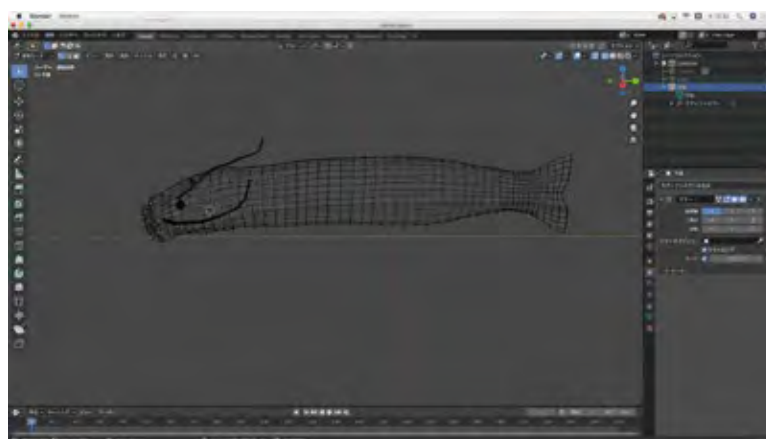
パッケージデザイナー、WEBデザイナー、ブックデザイナー、映像ディレクター、大手広告代理店のアートディレクターなど、様々なプロのグラフィックデザイナーが今起きている現場での体験を踏まえて指導します。

[メディアデザイン専攻分野]

映像クリエイター、監督、プログラマーはもちろんのこと、アニメーション作家、コンポザー、ゲームイラストレーター、カメラマンなど映像制作に関わるクリエイターが揃います。3DCGなど最先端のアプリケーションの技術指導も行います。

■ デザインビジネスに欠かせない講座

これからのデザインビジネスにおいてもっとも必要とされるマーケティングやブランドプロデュース、著作権などの知的財産権の講座、WEBやSNS、VRなど先端メディアの授業を揃え、また実践的ビジネスを学ぶためのインターンシップの斡旋なども行っています。



芸大・美大大学院への進学に特化した課程

ここ最近の傾向として、益々高騰している大学院受験倍率。それに伴って試験の難易度は高くなっています。しっかりとした対策を練らないと、合格が難しいと言わざるを得ません。

創形の美術進学課程は、大学院合格を第一とした受験専用のカリキュラムを設け、しっかりと大学院の受験に取り組む事により、多くの実績を残してきました。

表現演習や、各専攻分野のゼミで大学院を理解し、研究テーマの立て方からテーマ論文の書き方、小論文、面接対策やポートフォリオの制作など丁寧に受験対策を行っていきます。また研究生それぞれの個別受験対策相談を定期的に行っていきます。留学生に対しては日本語能力試験N1取得の授業も用意しています。

*大学院受験専用のカリキュラムとなっています。



有名美大の教授や講師による授業を開設

■ 大学教授、講師からの直接指導

創形の美術進学課程では、美術大学の教授や講師による授業が組まれています。

多摩美術大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、京都芸術大学など有名大学で実際に教鞭を取っている教員が大学院進学についての解説や対策のほか、学生一人ひとりの研究テーマや作品に対応した指導を行います。

※「美術進学課程の担当教員一覧」P24参照

■ 研究テーマの確立を目指す講座

大学院では自身の研究テーマとその目的が確立していることが合格の必須条件となっていますが、そこに苦慮している受験生が多く見受けられます。そこで創形では「総合研究ゼミ」としてそれぞれ専門の教員による研究計画の講座を設けています。

研究テーマの立て方や問題点、テーマに沿った作品制作など、学生一人ひとりに適切なアドバイスを行います。

■ 論文作成の講座や面接対策

昨今の大学院試験では、ますます小論文の得点を重視する傾向にあります。創形では小論文対策の講座や、問題として出されるテーマや専門用語の解説などを行う講座が組まれています。

せっかく論文や研究テーマが良く、作品の出来映えも申し分ないのに、面接で不合格となる受験生もいます。創形では面接での受け答えなどの対策をしっかり行います。



▲京都芸術大学 都築教授の講座



▲研究計画書・論文・ポートフォリオの講座



▲芸術概論の講座



▲模擬試験面接

ファインアートコース

ビジュアルデザインコース

美術進学課程には、ファインアートコースとビジュアルデザインコースがあります。その2つのコースは更に、5つの専攻分野に分かれています。自身の志望大学院の研究室に合わせて選択してください。それぞれの専攻分野には大学院の専門領域に詳しい教員が在職しています。

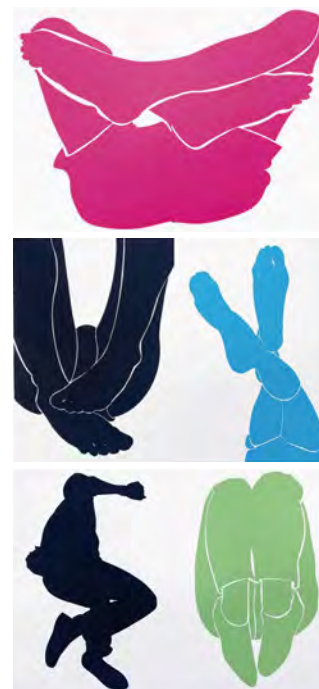
美術進学課程

ファインアートコース

- 絵画専攻分野
- 版画専攻分野

ビジュアルデザインコース

- イラストレーション・絵本専攻分野
- グラフィックデザイン専攻分野
- メディアデザイン専攻分野



大学院・大学 合格実績

【2022年度 大学院入学】

武蔵野美術大学 大学院造形研究科 デザイン専攻 基礎デザイン学コース(1名)
 京都芸術大学 大学院 デザイン領域(2名)
 女子美術大学 大学院美術研究科 美術専攻版画研究領域(2名)
 日本大学 大学院芸術学研究科 造形芸術専攻絵画分野(3名)
 日本大学 大学院芸術学研究科 造形芸術専攻版画分野(1名)
 日本大学 大学院芸術学研究科 造形芸術専攻デザイン分野(1名)
 文星芸術大学 大学院 芸術研究科 美術専攻 デザイン研究分野(1名)
 神戸芸術工科大学 大学院 芸術工学研究科 総合アート&デザイン専攻(1名)
 嵯峨美術大学 大学院芸術研究科 デザイン分野(1名)
 名古屋芸術大学 大学院 デザイン研究科 メディアデザイン研究領域(1名)
 多摩美術大学 版画研究領域 研修生(1名)

【2022年度 大学入学】

京都精華大学(1名) 日本大学芸術学部 2年編入(1名)
 京都芸術大学(1名) 女子美術大学 2年編入(1名)
 名古屋芸術大学(1名) 武蔵野美術大学 3年編入(1名)
 多摩美術大学(1名)

【2021年度以前の進学実績】

東京藝術大学大学院/多摩美術大学大学院/武蔵野美術大学大学院/東京造形大学大学院/女子美術大学大学院/京都精華大学大学院/日本大学大学院/東北芸術工科大学大学院/京都芸術大学大学院/秋田公立美術大学大学院/宝塚大学造形芸術学部大学院/名古屋芸術大学大学院/愛知県立芸術大学大学院/東京工芸大学大学院/神戸芸術工科大学大学院 他

ファインアートコース ビジュアルデザインコース

美術進学課程の担当教員一覧

〈専攻分野担当専任教員〉

山本 哲次

Tetsuji Yamamoto

学校長

デザインビジネスコース・ビジュアルデザインコース 専任教員

〈女子美術大学 講師〉

1962年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院V.C.D専攻修了。花王株式会社を経て、1993年山本デザイン室を設立。花王、リソな銀行をはじめとした広告、パッケージ、クラレ、東京交響楽団、NewYorkerなどのCI/VIのデザインに携わる。日本雑誌広告賞、グッドデザイン賞、デザインフォーラム、世界ポスタートリエントヤマ他、受賞多数。JAGDA総務財務委員・東京TDC会員・日本デザイン団体協議会（D-8）JDM設立研究委員・東京都中央区サッカー協会理事。

工藤 礼二郎

Reijiro Kudo

研究科 主任

アート研究コース・ファインアートコース 専任教員

1964年大阪府生まれ。1990年創形美術学校造形科卒業。1991年同校研究科絵画造形課程修了。1996年渡仏、パリ国際芸術都市滞在。東京・大阪・パリで個展（ギャラリー現、ギャラリエ アンドウ等、多数）その他グループ展多数。無所属。

鈴木 吐志哉

Toshiya Suzuki

アート研究コース・ファインアートコース 専任教員

〈東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 版画コース 講師〉

1968年東京都生まれ。創形美術学校研究科版画課程修了。アーティスト・イン・レジデンス アートスタジオ五日市滞在。2002年文化庁芸術家国内研修員。現代日本美術展（神奈川県立近代美術館賞）。日本版画協会展（準会員佳作）。飛騨高山現代木版画ビエンナーレ（大賞）、SUVREMENTA JAPANSKA GRAFIKA、国際木版画会議-木版ぞめき-、TRIBUNA GRAPHIC 2015、中日現代版画展 他、（社）日本版画協会会員。版画学会会員。



岡山 拓史

Hirofumi Okayama

デザインビジネスコース・ビジュアルデザインコース 専任教員

1980年神奈川県生まれ。東京デザイン専門学校卒業。スペースシャワーTVの映像制作部門「SEP」、デザイン事務所「FUTONE」を経て2016年独立。グラフィック、ムービー、ウェブなどジャンルを問わずデザイナー／アートディレクターとして活動中。JAGDA会員。

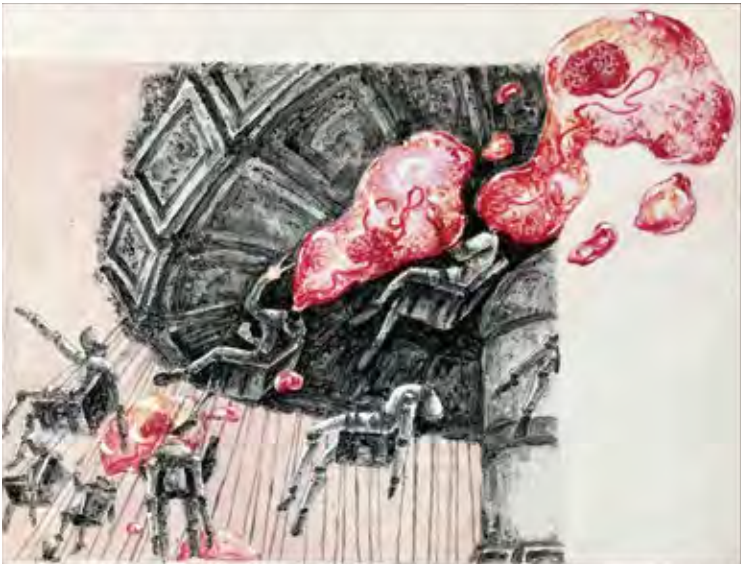
蔣 燕萍

Yanping Jiang

研究科 専任教員

留学生アドバイザー

中国福建省出身。2008年来日。2011年日本語能力試験N1合格。2014年3月札幌大学経営学部経営学科卒業。2014年4月株式会社アイテム入社。新卒担当のエージェントとして留学生の就職をサポート。2016年7月より創形美術学校にて主に広報活動と留学生進学指導に携わる。



〈美術進学課程授業担当教員〉

青木 聖吾

◎絵画造形総合研究ゼミ

1964年千葉県生まれ。1993年愛知県立芸術大学大学院修了。近年の助成等として、2017文化庁芸術推進事業助成、第17回セルバイラビエンナーレ・レジデンスアーティスト、第2回川口市アートギャラリー・アトリア新鋭作家展優秀賞。東京、京都、名古屋、ポルトガル、上海等で発表多数。

天野 純治

◎版画概論

1949年鳥取県生まれ。多摩美術大学大学院修了。第45回版画展版画協会賞、毎日現代日本美術展東京都現代美術館賞、World Print Competition最高賞。山口源大賞。元多摩美術大学客員教授。日本版画協会会員。

今井 圭介

◎版画講座

1959年新潟県生まれ。東京藝術大学卒業。町田市立国際版画美術館学芸員を経て町田市立博物館副館長（2012～2020年）。版画家・吉田穂高、小野忠重、博物画家・小林重三などの展覧会を企画・実施。

上野 仁志

◎クリエイティブ概論・ポートフォリオ講座

1960生まれ。1980年立教大学経済学部経営学科中退。1984年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。1986年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。株式会社博報堂入社。デザイナー、アートディレクター、を経てマネジメントディレクターとしてクリエイターの人材発掘と育成を担う。

澤田 泰廣

〈多摩美術大学 グラフィックデザイン学科 教授〉

◎特別授業（研究科授業）

1985年東京藝術大学美術学部デザイン科卒業。サントリー（株）宣伝制作室を経て、1989年澤田泰廣デザイン室設立、現在に至る。アートディレクター、グラフィックデザイナーとして活動。

白石 慶子

◎アニメーション総合研究ゼミ

東京藝術大学大学院アニメーション専攻修了。（株）サンライズCGアニメーター勤務後、独立。劇場・TVアニメ『地縛少年花子くん』『ダンガンロンパ3』『暗殺教室』『デジモンアドベンチャー tri.』OP・ED監督。NHKみんなのうた『日々』監督。

新川 貴詩

〈多摩美術大学 演劇舞踊デザイン学科 講師〉

◎芸術概論（研究科授業）

1967年生まれ。早稲田大学大学院情報通信専攻修了。美術ジャーナリストとして新聞や雑誌に文章を発表する傍ら、展覧会企画にも関わる。

関根 慎一

〈横浜美術大学 講師〉

◎デザイン総合研究ゼミ（研究科授業）

1961年神奈川県生まれ。1987年東京藝術大学大学院視覚デザイン専攻修了。株式会社LDデザイン事務所を経て、1997年、関根慎一デザイン室設立。企業・商品・イベント・展覧会などの広告、CI、ブックデザイン、カレンダー、ミュージアムグッズなどの制作。

都築 潤

〈京都芸術大学 情報デザイン学科 教授〉

◎ベーシックイラストレーションB／イラストレーション研究（研究科授業）

1962年生まれ。日本グラフィック展、ザ・チョイス年度賞、クレセントイラストコンペ、年間日本のイラストレーション、毎日広告賞、TIAA、カンヌ国際広告祭、アジアパシフィック広告祭、その他で受賞。

東樋口 徹

◎FAポートフォリオ講座

1975年奈良県生まれ。2006年東京藝術大学美術研究科修了。2005年第3回山本鼎版画大賞展準大賞、2007年Prints Tokyo 2007買上賞（三極）、2009年The 2nd NBC MESHTEC TOKYO INTERNATIONAL SCREEN PRINT BIENNIAL優秀賞。2015アワガミ国際ミニプリント展大賞。（社）日本版画協会会員。

中田 真梨子

◎文章表現

学習院大学文学部英語英米文化学科卒。現在、同大学大学院人文科学研究科身体表象文化学専攻の博士前期課程に在籍。研究テーマは「映画における動物表象」。2020年学芸員資格取得。同年から創形美術学校（留学生を対象）及びすいどーばた美術学院で小論文添削を担当。

馬場 知子

〈東北芸術工科大学 芸術学部 美術科 版画コース 講師〉

◎版画総合研究ゼミ

女子美術大学芸術学部絵画科版画専攻卒業。同大学研究生修了。文化庁芸術インターンシップ研修員。日本版画協会展（畦地梅太郎賞）、Trois-Riviere国際現代版画ビエンナーレ、文化庁現代美術選抜展、文化庁買上優秀美術作品披露展、高知国際版画トリエンナーレ（優秀賞）、（社）日本版画協会会員。

林 規章

〈女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 教授〉

◎特別授業（研究科授業）

グラフィックデザイナー、女子美術大学教授。広告、音楽、出版、TVなどのアートディレクション・グラフィックデザインに従事。主な仕事に「ブルーノ・ムナリの本たち」「NHK デザインあ みるほん」「MTV JAPAN」などがある。

早見 堯

◎絵画概論

早稲田大学第一文学部卒業。1970年代から現代美術の批評を通して「見る」とはどういう経験なのか、「表す」とは人にとって何なのかを具体的な「作品」に即して考えている。著書は『増補新装カラー版20世紀の美術』（共著）その他。

宮田 徹也

〈嵯峨美術大学 客員教授／日本大学 芸術学部 美術科 講師〉

◎絵画講座

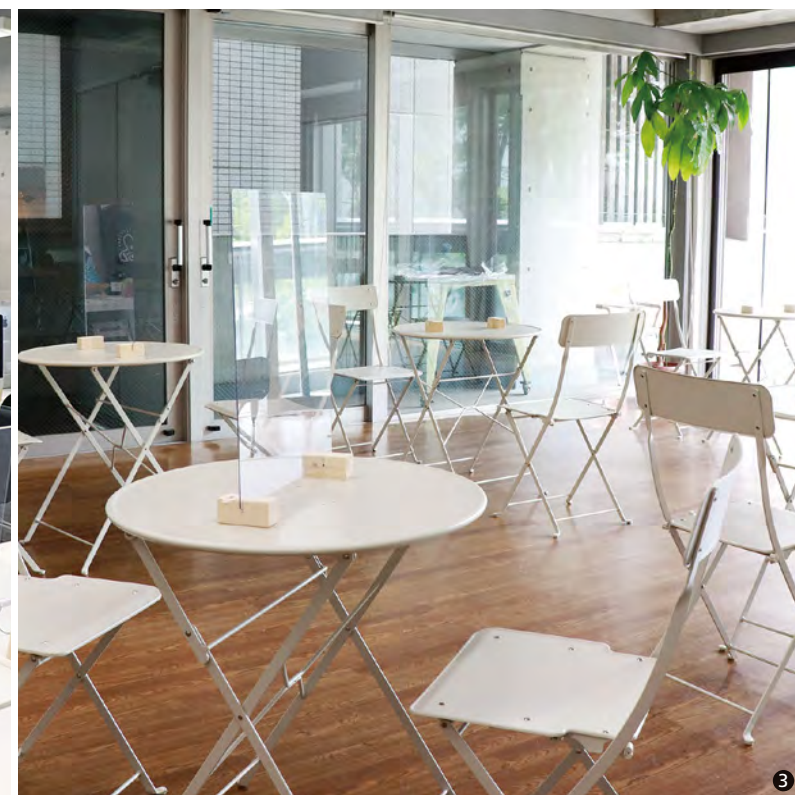
1970年横浜生まれ。日本近代美術思想史研究。岡倉覚三、宮川寅雄、針生一郎を経て敗戦後日本前衛美術に到達。ダンス、舞踏、音楽、デザイン、映像、文学、哲学、批評、研究、思想を交錯しながら文化の【現在】を探る。

山本 晶

◎絵画造形総合研究ゼミ

武蔵野美術大学大学院修了。文化庁国内・在外研修、ホルベインスカラシップ、主なグループ展『ART TODAY 2004』『VOCA』。主な個展 ギャラリーアンドウ、アートフロントギャラリー、ギャラリーαMなど。

※このほか、研究テーマに合わせて創形美術学校に所属している専門分野の教員が対応いたします。
アート・デザイン専門課程の教員など創形所属の教員は創形美術学校ホームページで閲覧できます。



充実した環境と設備

創形は西池袋の学生街に位置し、地下1階から地上9階のスタイリッシュな校舎が公園に面して建てられています。1階のギャラリーにて常時多彩な企画の展覧会を開催し、日頃からアートやデザインを身近に感じる環境が備わっています。また版画工房やコンピュータールームはいつでも使用が可能で、プレス機、パソコンやプリンターなどの周辺機器も自由に使用できるほか、少人数制の学校ならではの余裕あるスペースなど、充実した環境と設備があります。特に版画工房は都内最大規模の大きさを誇り、四版種全ての制作が可能な設備が整っています。

講義室-①

大学院進学講座などの講義授業や語学講座、特別授業などを行う講義室です。就職セミナーや企業説明会の他、専攻分野を越えた実技や講座なども開催されます。

コンピュータールーム-②

パソコン (Mac)、大判インクジェットプリンター、カラーレーザー複合機などを設置。学生はいつでも使用ができます。パソコンの扱いに不安を持つ学生も、インストラクターが常駐しているので安心です。

学生ホール-③

学生達が集い、くつろげるスペースとして学生ホールがあります。無人菓子サービス (オフィスグリコ) が設置され、学生の憩いの場にもなっています。

図書室

日本のみならず東洋や西洋の絵画や版画などに関する書籍約2,000冊が収まっています。イラストレーション、絵本、グラフィックデザイン、アニメーション、映像、コミックなどの図書はそれぞれのアトリエにあり、いつでも閲覧が可能です。

ギャラリー

学校正面1階にある吹き抜けのギャラリー「ギャラリー・プリント」では、様々な展示やワークショップが開催されます。研修帰国報告会などの講演、演劇、公開講評なども行われます。

版画工房-④

都内有数の大型工房。リトグラフ、銅版画のプレス機や腐食室など設備が充実。プロの版画家に必要な機材や道具が一通り備えられています。ゆったりとしたスペースで版画の四版種全てが制作できます。

沿革

1969. 4	すいどーばた美術学院に美術の作家育成を目的としたプロフェッショナルコース造形科(3年制)版画科(2年制)を設置し発足(東京都豊島区目白)
	 創設者 高澤 節
1971. 3	研究科に版画課程(1年制)を新設 版画科個展賞発足
1972. 3	造形科海外留学賞制度発足(1977年まで毎年実施) 研究科に造形課程(1年制)を新設
12	「創形美術学校」として、東京都国立市に新校舎を建築し、高澤学園設置の各種学校として認可を受ける 油画保存技術研究と絵画技法、材料研究を行う目的をもって「修復研究室」を併設
1973. 8	国際交流展「日豪学生版画交換展」(創形美術学校と王立メルボルン工科大学)を栃木県立美術館・山形美術博物館で開催
	 日豪学生版画交換展ポスター
1976. 6	専修学校制度により美術造形専門学校として認可を受ける
1979. 4	版画科3年制となる 修復研究室が調査研究機器設備を充実させ修復研究所と改称し、東京都豊島区西池袋に移転
1986.11	国際交流展「創形美術学校・パリ国立美術学校学生作品交換展」を東京(ぎやらりセンターポイント)・1987年1月パリ(ギャラリー メゾン・デ・ボザール)で開催 パリ国際芸術都市(シテ・アンテルナショナル・デ・ザール)にアトリエを開設 海外研修派遣制度を設ける
1988. 8	国際交流展「創形美術学校・パリ国立美術学校学生作品交換展」を東京(セントラルアネックス)・1989年1月パリ(ギャラリー メゾン・デ・ボザール)で開催
12	文部省教育研究委託指定校(以後3ヶ年)
1991. 4	グラフィックデザイン科(3年制)を新設 ギャラリー「スペース・点」を校内に設置
1992. 3	研究科に「高澤賞」制度を設ける
5	国際交流展「現代の作家と弟子展」を東京(ストライプハウス美術館)、ミラノ(ブレラ国立美術学校ナポレオンの間)で開催

1992.10	同窓会設立
1993. 3	研究科にデザイン課程を設ける
1994. 6	「専門士」の称号が付与される
1995. 4	造形科、版画科を統合してファインアート科とし、グラフィックデザイン科の名称をビジュアルデザイン科に改める
1997. 9	国際交流展「1997MILANO-TOKYO」をミラノ(ブレラ国立美術学校・ナポレオンの間)・東京(麻布美術工芸館)で開催
2000. 4	東京都豊島区西池袋に新校舎を建設、移転する
	
2004.11	国際交流展「TOKYO-MEXICO 04-05」を東京(成増アートギャラリー)で開催 翌年の2月にメキシコ国立芸術院ラ・エスメラルダ芸術大学 ガレリア・ラ・エスメラルダで開催
2010. 2	「ART TRIANGLE」国立ミラノ・ブレラ美術学校、メキシコ国立芸術院 ラ・エスメラルダ芸術大学との交流展をNHKふれあいホールギャラリーで開催
2013.10	メキシコ ペラクルス大学と学術交流協定を結ぶ
2014. 6	創形の理念となる「5つの個性」を明文化し、「5つの専攻」「5つの力」と合わせて「三つの5つ」を掲げる
2016. 4	メディア映像専攻をアニメーション&コミック専攻に名称変更 専攻の枠にとられない「先端メディア アート&デザイン」を設立
10	社会人向け版画スクール「いけぶくろ版画工房」を創形美術学校内に設立
2017. 4	すいどーばた美術学院「海外美術留学準備コース」を創形美術学校へ業務移管
2019. 4	創形美術学校 創立50周年
2020. 4	研究科を「アート・デザイン専門課程」「美術進学課程」に変更 社会人のための美術教室「いけぶくろARTスクール」を開設



- ご利用の各路線の改札口をご確認のうえ、
 **地下鉄連絡通路出口 C3**よりお越しく下さい。
- JR線(山手線・埼京線・湘南新宿ライン)「南改札」
 - 東武東上線「南口改札」
 - 西武池袋線「地下改札」※西口方面へ徒歩7分
 - 東京メトロ 有楽町線「南通路西改札」
 - 東京メトロ 丸の内線・副都心線「西通路東改札」

詳しくは、創形HPの「アクセス」をご覧ください。
→ <https://www.sokei.ac.jp/access/>

本物にふれる 本当の力をつける



お気軽にお問い合わせください。

TEL:03-3986-1981
e-mail:sokei@sokei.ac.jp

創形 研究科

検索

スマホの方は
QRコードから →



171-0021 東京都豊島区西池袋 3-31-2 TEL:03-3986-1981 FAX:03-3986-1982 <https://www.sokei.ac.jp/>